

万が一の災害に備える 町総合防災訓練

町では2年に一度、さまざまな災害を想定した総合防災訓練を実施しています。
災害は、いつ発生するか分かりません。「災害に強い地域づくり」のため、関係機関と私たちの住む地域で、平常時から連携して災害に備えましょう

Contents — 【目次】

- 02 万が一の災害に備える 町総合防災訓練
- 04 まちのわだい
- 06 「笑顔つむぐりレー」／地域おこし協力隊通信
- 07 野口英世博士顕彰記念町内小学校体育祭
- 08 令和6年度決算
- 10 令和7年度猪苗代町人事行政運営等の状況
- 12 教育委員会の活動状況に関する評価結果を公表します
- 13 令和7年度インフルエンザ・新型コロナウイルス予防接種助成
- 14 猪苗代湖のラムサール条約登録を知事に報告 ほか
- 18 いなわしろタウンページ
- 24 暮らしの情報広場
- 26 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー



5



2



6



4



3

1_放水訓練を行う消防団員 2_県消防防災ヘリによる救助訓練 3_避難訓練を行う上戸、湊志田、都沢、関脇地区など月輪地区の皆さん 4_自主防災組織と消防団員が協力して土のうを積み上げた水防訓練 5_応急救護所ではトリアージと応急手当訓練が行われた 6_建物内から被災者を救出し救急搬送



1

【今月の表紙】



野口英世博士顕彰記念町内小学校体育祭が開かれました。表紙は、5、6年男子1000m競技です(7ページに関連記事)。

【撮影日】 9月25日
【撮影場所】 町運動公園

町総合防災訓練は9月7日、旧緑小学校や長瀬川河川敷、道の駅猪苗代などを会場に行われました。訓練には、町消防団や猪苗代消防署、猪苗代警察署、陸上自衛隊などの関係機関のほか、地域の自主防災組織など合わせて約330人が参加しました。

訓練は、大雨と河川の氾濫、土砂崩れなどの災害発生に加え、大地震による建物倒壊や建物火災などを想定して行われました。

旧緑小学校の会場では、自主防災組織による避難訓練や、町婦人消防連絡協議会の皆さんが参加して負傷者を救助する応急救護所設置訓練が行われました。このほか、建物内に取り残された人を助ける救助・救急搬送訓練や放水訓練なども行われ、参加者は緊張感をもって訓練に取り組み、防災への意識を高めました。

【Voice】

月輪地区区長 古川 正さん



近年は、大雨や地震などによる災害が多発しており、いつ、どこで発生するかわかりません。誰にでも危険が及びます。災害の被害を軽減するためには、「自助・共助・公助」それぞれの連携が重要です。いざというときにすぐに避難できるよう避難場所までのルート確認や防災用品の準備、家具の転倒や落下防止など、まずは自分でできることを考え対策しておく。自分一人では対応できないことは、隣近所や地域全体で力を合わせ助け合えるように、日ごろから準備しておくことが大事だと感じました。